

留学先大学： The University of Washington / ワシントン大学留学先での所属学部・研究科： Collage of Build Environment, Department of Architecture / 工学部建築学科留学先での在籍身分： Visiting Graduate/ M Arch +2（大学院2年コースの一年目）留学期間： 2012 年 9 月～ 2013 年 6 月神戸大学での所属学部・研究科： 工学研究科建築学専攻学年（出発時）： 2 年本報告書記入日： 2013 年 6 月 18 日**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Arch410	John Stamets	3 h	3	1 5	建築の白黒写真の授業
2	Arch498	Lucrecia Blanco	2 h	3	1 5	照明デザイン。
3	Arch500	Ann Marie Borys	9 h	6	1 2	建築設計のスタジオ
4	Arch435	Chris Meek	3 h	3	2 0	ダイライティングデザイン
5	Arch498	Kimo Griggs	3 h	3	1 5	デジタルファブリケーションの授業
6	Arch501	Rob Coser	9 h	6	1 2	建築設計のスタジオ
7	Arch486	Brian Johnson	3 h	3	1 0	Processing, GrassHopperの授業
8	Arch498	Jessica Miller	3 h	3	2 5	Revitの授業
9	Arch533	Melihka Inanici	3 h	3	2 5	Ecotect等を使った環境シミュレーション
10	Arch600	Kimo Griggs	3 h	3	5	家具作りのスタジオ

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

日本に比べると全てのクラスサイズが小さく、先生との距離も近いです。成績の評価基準はクラスが始まる時に明示されるので、それに気をつけていれば大丈夫だと思います。

**費用について**

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃： 1 8 0, 0 0 0・住居費：（月額） 8 0, 0 0 0 ×（留学月数） 1 0 ヶ月 = 8 0 0, 0 0 0・食費：（月額） 3 0, 0 0 0 ×（留学月数） 1 0 ヶ月 = 3 0 0, 0 0 0・保険料： 1 0 0, 0 0 0

・その他： \_\_\_\_\_

合計： 1 3 8 0, 0 0 0（留学期間全体の費用）

## その他 自由に記入してください。(800字～)

終わってみると本当にあっという間のプログラムでした。大まかに「専門（建築）」、「生活」、「英語」に分けて感想を書きたいと思います。

**■専門（建築）の勉強について**

こちらのCBE（Collage of Build Environment）で勉強しようと思ったのは、日本ではあまりまだ未発展な分野であるDigital Fabricationといってレーザーカッターや3Dプリンター、CNCラウダー等を使って、デザインしたものをアウトプットする技術が進んでいるからです。実際にiPhoneケース等のプロダクト作りを通して、パソコン内でデザインしたものを実現化させるための様々な方法を学べたことは、とても為になりました。またこちらの学校では卒業後にすぐに使える人材を育成するために、非常にプラクティカルな授業を充実させています。パソコンソフトの授業も充実しているので、GrassHopper, Processing, Rhinoceros, Revit等様々なデザインツールを習得することができ、デザインの幅も広がりました。最後の学期では家具作りのスタジオでは自分で椅子を設計して、木工所で実際に作りました。普段の建築設計とは違うスケール感で、細かいミリ単位のデザイン、そして接続部のデザインを考えるという経験は、今後の設計に大きく生きてくると思います。

**■生活について**

私も含め4人でシェアアパートに住んでいました。初めてのシェアアパートでしたが、一緒に料理を作ったり、旅行に行ったり等、とても楽しい生活でした。家に帰ってきてからの彼女たちとの会話も英語のスキルアップにとっても役立ったと思います。

建築学科はとても授業時間以外の作業時間が多く、平日は慢性的に睡眠不足でした。週末に寝だめして、友達とどこかに遊びに行くという生活を送っていました。毎休暇ごとに各地を旅することを決めていたので、休みの間はほぼシアトルにはおらず、サンフランシスコ・ロサンジェルス・ニューヨーク・フロリダ・ペルー・ボリビア等を旅してまわりました。

**■英語について**

来る前まではどちらかというとイギリス英語に慣れていたので、最初はアメリカ英語を聞きとるに苦労しましたが、クラスのディスカッションやスタジオでの先生とのエスキスを重ねるうちに分かるようになってきました。デザインが主であり文章を書く機会がなかったので、ライティングはあまり鍛えることができませんでしたが、作品のプレゼンテーションやディスカッションを通してスピーキング、リスニングのスキルは飛躍的に伸びたと思います。またルームメイトとの毎日の日常会話で、普段の会話には不自由をしなくなりました。